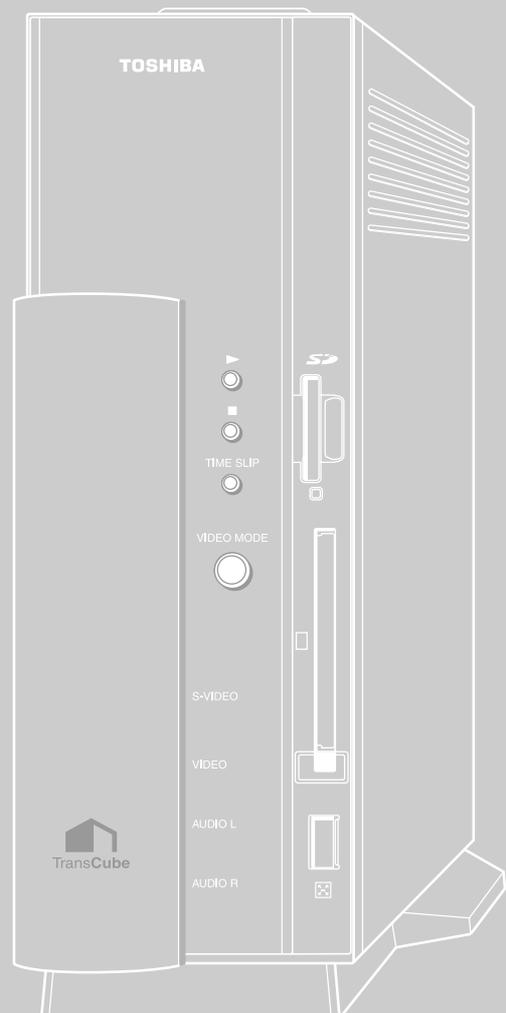


音楽タイトルの利用

音楽一覧画面.....	80
音楽タイトルを利用する	83
音楽タイトルの管理	86



音楽一覧画面

音楽一覧画面の概要

メインメニューから [ライブラリ] を選択し、[音楽] を選択すると音楽一覧画面が表示されます。また、テレビ視聴中などは、リモコンの [音楽] ボタン  を押すと音楽一覧画面が表示されます。

音楽一覧画面には、「全タイトル」「アルバム別」などのフォルダが表示されます。このうち「全タイトル」には、すべての音楽タイトルが分類せずに収められています。それ以外のフォルダには、タイトルを探しやすいように、「アルバム別」「アーティスト別」などに分類して収められています。

これらの分類基準を「カテゴリ」と呼びます。「全タイトル」「ジャンル別」「視聴 / 未視聴別」「アーティスト別」「アルバム別」の5つのカテゴリに応じたフォルダが表示されます。



音楽一覧画面では、次のボタンが使用できます。

ボタン	機能
[方向キー] 	フォルダを選択します
[決定]ボタン 	選択したフォルダを開き、フォルダまたはタイトルの一覧を表示します
[戻る]ボタン 	1つ前の画面に戻ります

ワンポイント

音楽タイトルをTransCubeに登録するには、LIVE MEDIA for TransCubeが必要です。

参照 音楽データを登録する LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル 169ページ

お知らせ

TransCubeで再生する音楽タイトルと曲数には、以下の制限があります。

- ・登録可能タイトル数：2000タイトル
- ・ファイル形式：MP3 (MPEG Audio Layer-3)
- ・サンプリング周波数：48 / 44.1 / 32 / 22.05 / 16kHz

TransCubeには2000曲まで音楽タイトルを登録することができます。

MP3形式以外の音楽タイトルは再生できません。また、MP3形式であっても、サンプリング周波数の条件に満たない場合は、TransCubeでの再生は行われません。

音楽タイトル一覧画面の概要

次の操作で、音楽タイトルの一覧を表示できます。

2



使用するボタン

3



1 音楽一覧画面で[方向キー]  を押し、タイトルを表示したいフォルダを選択する

2 [決定] ボタン  を押す

▶ 目的のタイトルを探しやすいようなカテゴリを開いてください。

▶ 「全タイトル」を選択した場合は音楽タイトル一覧画面が表示されます。

3 タイトルを表示したいフォルダを選択し、[決定] ボタン  を押す

▶ 7個以上のフォルダがある場合は、複数ページに分けて表示されます。[スキップ-] [スキップ+] ボタン  でページを切り替えられます。

4 音楽タイトル一覧画面が表示される

はじめに

テレビ放送を視聴する

ビデオの再生と録画

録画予約

ビデオタイトルの管理

写真の利用

音楽タイトルの利用

伝言機能

設定メニュー

メンテナンスモード

音楽タイトル一覧画面には、次の情報が表示されます。



表示	内容
① ページ	全体のページ数と、現在のページを表示します
② ソート	タイトルを並べ替える方法を表示・指定します
③ 視聴 / 未視聴	視聴済みか未視聴かを表示します : 視聴していません : 視聴済みです
④ PIN	PINの登録状態を表示します 表示なし : PINが登録されていません : PINが登録されています
⑤ 保護	保護の設定状態を表示します 表示なし : 保護されていません : 保護されています
⑥ No	トラックナンバーを表示します
⑦ タイトル	音楽のタイトル名が表示されます
⑧ アーティスト	アーティスト名が表示されます
⑨ アルバム	アルバム名が表示されます

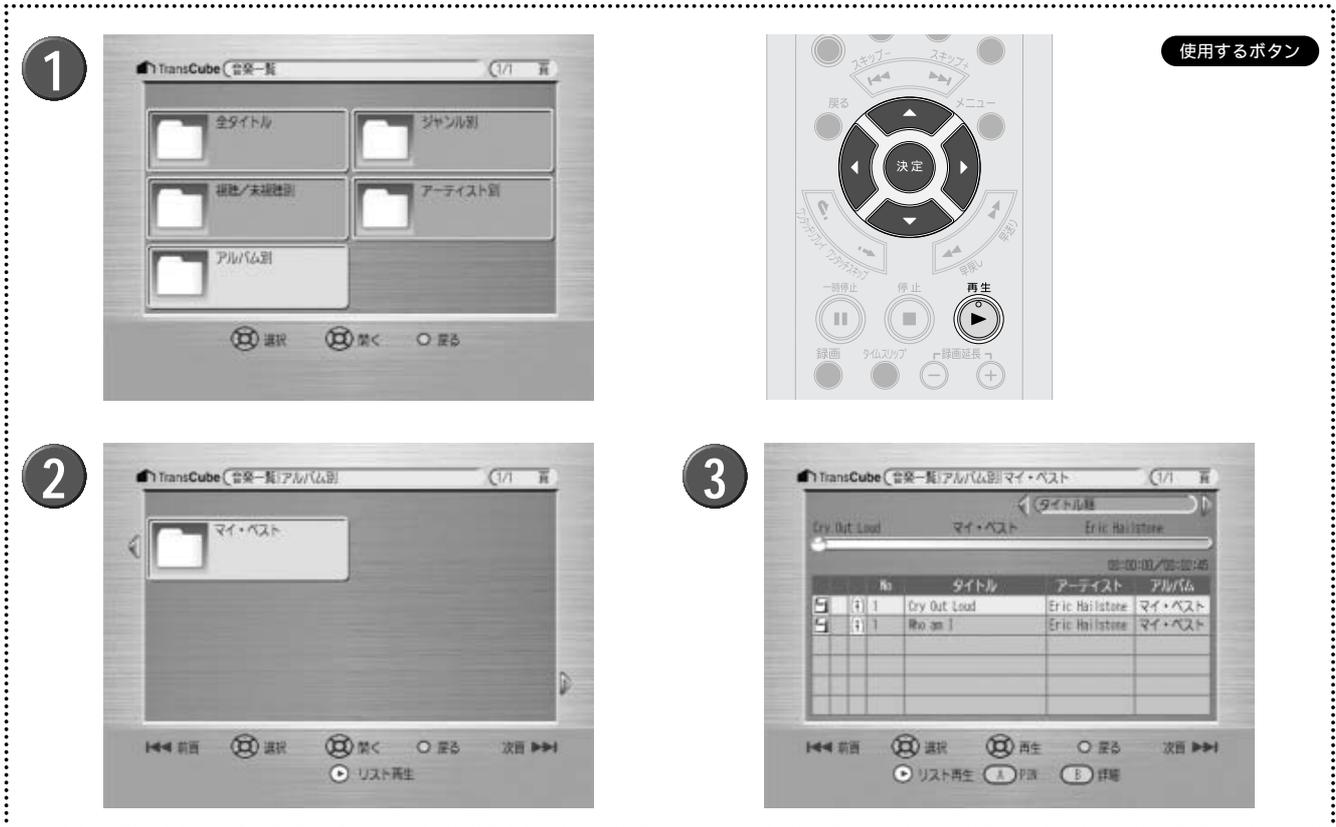
音楽タイトル一覧画面では、次のボタンが使用できます。

ボタン	内容
[方向キー（上下）]	タイトルを選択します
[方向キー（左右）]	タイトルが7つ以上あるとき、ページを切り替えます
[再生]ボタン	選択したタイトルをリスト再生します。1つのタイトルの再生が終わったら、次のタイトルを再生します 85ページ
[決定]ボタン	選択したタイトルを再生します 85ページ
[戻る]ボタン	1つ前の画面に戻ります
[スキップ -][スキップ +]ボタン	タイトルが7つ以上あるとき、ページを切り替えます
[削除]ボタン	選択したタイトルを削除します 58ページ
[保護]ボタン	選択したタイトルを保護します 57ページ
[A]ボタン	選択したタイトルにPINを登録したり、PINを解除します 61、63ページ
[B]ボタン	選択したタイトルの詳細情報を表示します 57ページ

音楽タイトルを利用する

アルバムを選択して再生する

「アルバム別」フォルダには、音楽タイトルがアルバム別のフォルダに分類して収められています。この中からアルバムを選択することで、アルバムをまとめて再生できます。



1 音楽一覧画面で[方向キー] を押して「アルバム別」フォルダを選択し、[決定] ボタン を押す

- ▶ アルバム単位にまとめられたフォルダが表示されます。
- ▶ 7個以上のフォルダがある場合は、複数のページに分けて表示されます。ページを切り替えるときは次の操作を行います。

- ・[スキップ-] ボタン : 前のページへ移動します。最初のページを表示しているときは、最後のページへ移動します。
- ・[スキップ+] ボタン : 次のページへ移動します。最後のページを表示しているときは、最初のページへ移動します。
- ・[方向キー(左)] : 左上のフォルダを選択しているときに、前のページへ移動します。最初のページを表示しているときは、最後のページへ移動します。
- ・[方向キー(右)] : 右下のフォルダを選択しているときに、次のページへ移動します。最後のページを表示しているときは、最初のページへ移動します。

2 再生したいフォルダを選択して、[再生] ボタン を押す

3 アルバム内のタイトルが順に再生される

はじめに

テレビ放送を視聴する

ビデオの再生と録画

録画予約

ビデオタイトルの管理

写真の利用

音楽タイトルの利用

伝言機能

設定メニュー

メンテナンスモード

再生画面では、再生中のタイトルに関する、次の情報が表示されます。



	表示	内容
①	タイトル	音楽のタイトル名が表示されます
②	アルバム	アルバム名が表示されます
③	アーティスト	アーティスト名が表示されます
④	再生バー	再生の進行状況を表示します
⑤	操作表示	再生状態を表示します  : 再生中です  : 早送り中です。数字は早送りの速度を示します  : リピート再生中です  : 早戻し中です。数字は早戻しの速度を示します  : 一時停止中です
⑥	再生位置	再生中のタイトルの再生位置を、再生時間/録音時間の形式で表示します

再生画面では、次のボタンが使用できます。

ボタン	内容
[方向キー（上下）] 	タイトルを選択します
[方向キー（左右）] 	タイトルが7つ以上あるとき、ページを切り替えます
[再生]ボタン 	選択したタイトルをリスト再生します。1つのタイトルの再生が終わったら、次のタイトルを再生します
[決定]ボタン 	選択したタイトルを再生します
[停止]ボタン 	再生を停止します
[早送り][早戻し]ボタン 	再生を早送り / 早戻しします。押すたびに早送りと早戻しの速度が変わります
[スキップ-]ボタン 	その曲の先頭にスキップします。続けて押すと前の曲の先頭にスキップします
[スキップ+]ボタン 	次の曲の先頭にスキップします
[再生モード]ボタン 	リピート再生を設定します。もう一度押すとリピート再生を解除します
[戻る]ボタン 	再生を停止します
[一時停止]ボタン 	再生時に再生を一時停止します

ワンポイント

「アルバム」以外のフォルダでも、同様の操作でリスト再生ができます。

ワンポイント

リピート再生を行った場合、タイトル再生中は、そのタイトルを繰り返し再生します。リスト再生中は、フォルダ内のタイトルを繰り返し再生します。

お知らせ

早送り / 早戻し中は、音声出力は行われません。

曲を指定して再生する

1



使用するボタン



2



1 音楽タイトル一覧画面で[方向キー]  を押し、再生したい音楽タイトルを選択する

2 [決定] ボタン  または [再生] ボタン  を押す

▶ 選択した音楽タイトルが再生されます。

▶ [決定] ボタンを押したときは、その曲の再生の終了後に一時停止状態となります。

▶ [再生] ボタンを押したときは、その曲の再生終了後、次の曲を再生します。

▶ [停止] ボタン  を押すと、曲の再生を停止します。

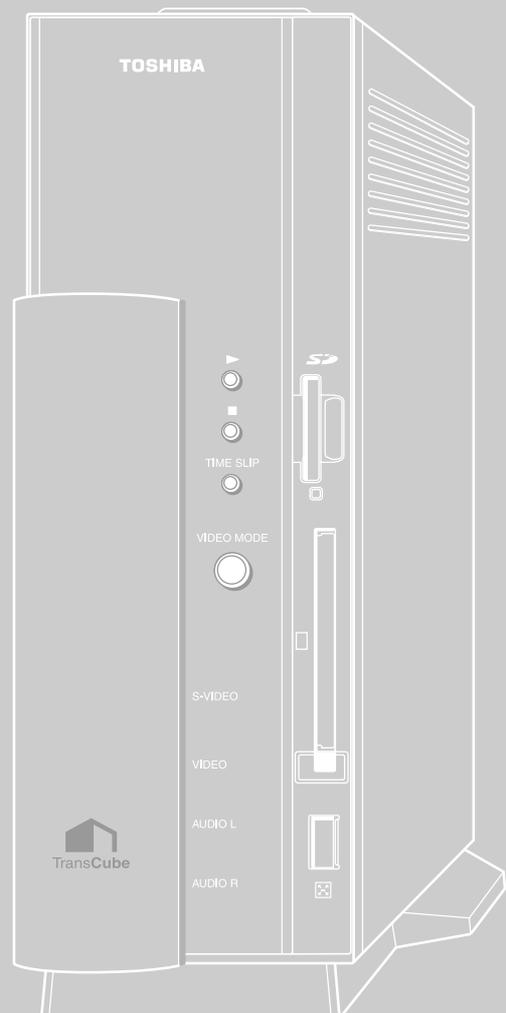
音楽タイトルの管理

音楽一覧画面や音楽タイトル一覧画面での操作は、ビデオタイトルの操作と同様に行えます。以下のページをご参照ください。

・音楽タイトルの並べ替え	56ページ
・音楽タイトルの詳細表示	57ページ
・音楽タイトルの保護	57ページ
・音楽タイトルの削除	58ページ
・音楽タイトルへのPIN登録	61ページ
・音楽タイトルのPIN解除	63ページ
・PINを登録した音楽タイトルを視聴する	62ページ

伝言機能

伝言メッセージを読む	88
伝言メッセージの削除	91
新着伝言通知.....	91



伝言メッセージを読む

LIVE MEDIA for TransCubeやウェブブラウザで登録した伝言メッセージを、読んだり削除したりできます。最初に伝言画面を表示してから操作を行います。

ワンポイント

伝言メッセージは、LIVE MEDIA for TransCubeから登録することができます。

参照 伝言を登録する LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル 122ページ

お知らせ

JIS第1水準、JIS第2水準以外の文字は、TransCube本体では表示できません。 に置き換わって表示されます。

お知らせ

TransCubeに保存される伝言の数は1000件までです。1000件を超えると、最も古い伝言が削除されて、新しい伝言が登録されます。このとき、伝言の削除を通知するメッセージは表示されません。

伝言画面の表示 メインメニューからの操作

メインメニューから伝言画面を表示するには、次のように操作します。



1 TransCubeに接続したテレビに、メインメニューを表示する

参照 メインメニューの表示 7ページ

2 [伝言] を選択し、[決定] ボタン  を押す
▶ 伝言画面が表示されます (89ページ図)。

伝言画面の表示 テレビ視聴中などの操作

テレビ視聴中などには、次の操作で伝言画面を表示できます。



1 テレビ放送視聴中、再生中などに、[伝言] ボタン  を押す

▶ 伝言画面が表示されます (89ページ図)。

▶ 次のようなとき、[伝言] ボタンが有効です。

- ・ テレビ視聴中 : テレビ視聴を停止して伝言画面を表示します。
- ・ 再生中 : 再生を停止して伝言画面を表示します。
- ・ 録画中 : 録画を継続して伝言画面を表示します。
- ・ ライブラリの操作中 : 伝言画面を表示します(一部の操作中は無効です)。
- ・ メインメニュー表示中 : 伝言画面を表示します。

ワンポイント

伝言画面からメインメニューに戻るには、[メニュー] ボタン  を押します。

伝言画面の概要

伝言画面には次の情報が表示されます。



	表示	内容
①	ページ	全体のページ数と、現在のページ数を表示します
②	未読	まだ読んでいない伝言の数を、未読伝言数 / 全伝言数の形で表示します
③	未読 / 既読	伝言を読んでいるか、まだ読んでいないかを表示します  : まだ読んでいません  : すでに読んでいます
④	タイトル	伝言のタイトル名を表示します
⑤	名前	伝言を登録したときに設定した名前とアイコンを表示します
⑥	日付	伝言を登録した日時を表示します

伝言画面では、次のボタンが使用できます。

ボタン	機能
[方向キー(上下)] 	伝言を選択します
[方向キー(左右)] 	伝言が9つ以上あるとき、ページを切り替えます
[決定] ボタン 	選択した伝言を表示します
[スキップ-] [スキップ+] ボタン 	伝言が9つ以上あるとき、ページを切り替えます
[削除] ボタン 	選択した伝言を削除します
[戻る] ボタン 	メインメニューに戻ります

はじめに

テレビ放送を
視聴する

ビデオの
再生と録画

録画予約

ビデオタイトル
の管理

写真の利用

音楽タイトルの
利用

伝言機能

設定メニュー

メンテナンス
モード

伝言メッセージの表示

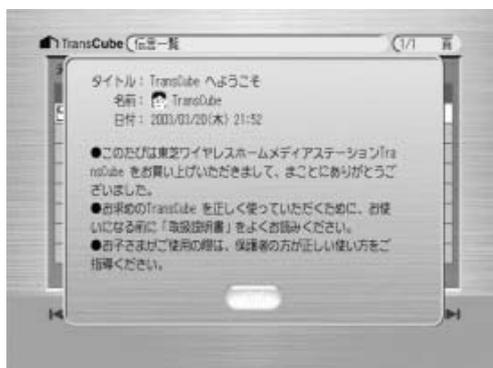
伝言メッセージを見るには次のように操作します。

1



使用するボタン

2



1 伝言画面で [方向キー]  を押し、内容を表示したい伝言を選択する

- ▶ 伝言が9つ以上ある場合は、2ページ以上に分けて表示されます。ページを移動するには、[スキップ-] [スキップ+] ボタン  か [方向キー]  を押します。
- ▶ [戻る] ボタン  を押し、メインメニューに戻ります。

2 [決定] ボタン  を押し、メッセージが表示される

- ▶ [方向キー]  で、メッセージをスクロールできます。
- ▶ [決定] ボタン  で伝言画面に戻ります。

伝言メッセージの削除

不要になった伝言は削除できます。



- 1 伝言画面で [方向キー]  を押し、削除したい伝言を選択する
▶ 伝言が9つ以上ある場合は、2ページ以上に分けて表示されます。ページを移動するには、[スキップ-] [スキップ+] ボタン  が [方向キー]  を押しします。
- 2 [削除] ボタン  を押す
▶ 伝言が削除されます。

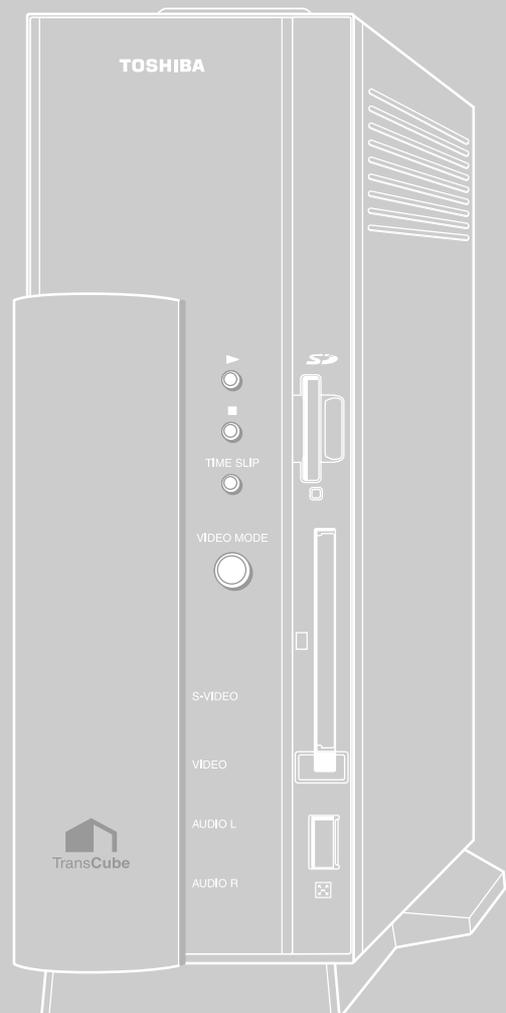
新着伝言通知

伝言が届くと、通知画面がテレビ画面などに表示されます。[決定] ボタン  を押すか5秒間経過すると画面が閉じます。



設定メニュー

設定メニューの各部名称	94
日時設定	94
チャンネル地域設定	95
チャンネル微調整	96
ブザー設定	96
縦横比設定	97
PIN設定	97
情報表示	98



設定メニューの各部名称

設定メニューには次の項目があります。



- ・日時設定 本体の日時設定を行います
- ・チャンネル地域設定 ご利用の地域に合わせたテレビチャンネルの設定ができます 95ページ
- ・チャンネル微調整 チャンネルごとの周波数を微調整します 96ページ
- ・ブザー選択 操作音のあり/なしを設定します 96ページ
- ・縦横比設定 テレビ画面の縦横比を設定します 97ページ
- ・PIN設定 PINの設定を行います 97ページ
- ・情報表示 現在の設定情報を表示します 98ページ

日時設定

本体の日時設定を行います。

2



使用するボタン

1 設定メニューで [日時設定] を選択し、[決定] ボタン を押す

▶ 日時設定画面が表示されます。

2 日時を設定し、[決定] ボタン を押す

▶ [方向キー] の で項目移動、 で数値の設定となります。

3 「日時設定により、録画予約が実行されない可能性があります。登録しますか？」とメッセージが表示されるので、登録する場合は [はい] を選択して [決定] ボタン を押す

▶ 設定を完了して設定メニューに戻ります。

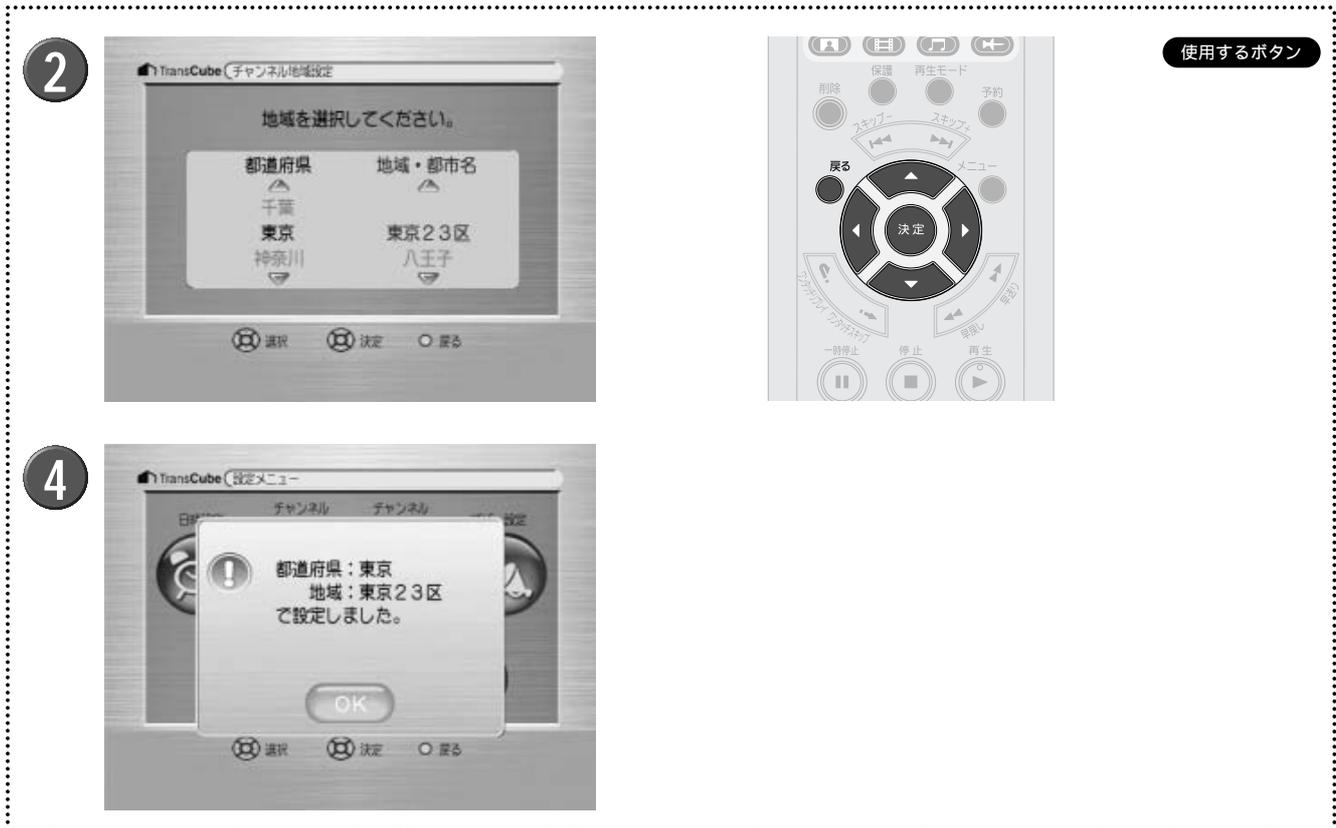
▶ 日時設定をキャンセルしたい場合は、[いいえ] を選択して [決定] ボタンを押します。

お知らせ

- ・予約した録画の開始6分前から録画終了までは、手動設定で日付・時刻の変更はできません。また、お好み再生中、追っかけ再生中、録画同時再生中、ワンタッチ録画中は、日付・時刻の変更はできません。
- ・日時設定の範囲は、「2003/01/01 00:00:00」～「2035/11/30 23:59:59」です。この範囲外の日時設定は受け付けません。

チャンネル地域設定

表示チャンネルと受信する放送局の設定を、地域指定で行います。



1 設定メニューで [チャンネル地域設定] を選択し、[決定] ボタン  を押す

▶ チャンネル地域設定画面が表示されます。

2 「都道府県」を設定し、[決定] ボタン  を押す

▶ [方向キー]  で都道府県を選択します。

3 「地域・都市名」を設定し、[決定] ボタン  を押す

▶ [方向キー]  で地域・都市名を選択します。

▶ 設定確認画面が表示されます。

4 [決定] ボタン  を押す

▶ 設定を完了して設定メニューに戻ります。

▶ 設定をキャンセルするには [戻る] ボタン  を押します。

お知らせ

テレビ視聴中、および録画中は、チャンネル地域設定の変更はできません。

はじめに

テレビ放送を
視聴する

ビデオの
再生と録画

録画予約

ビデオタイトル
の管理

写真の利用

音楽タイトルの
利用

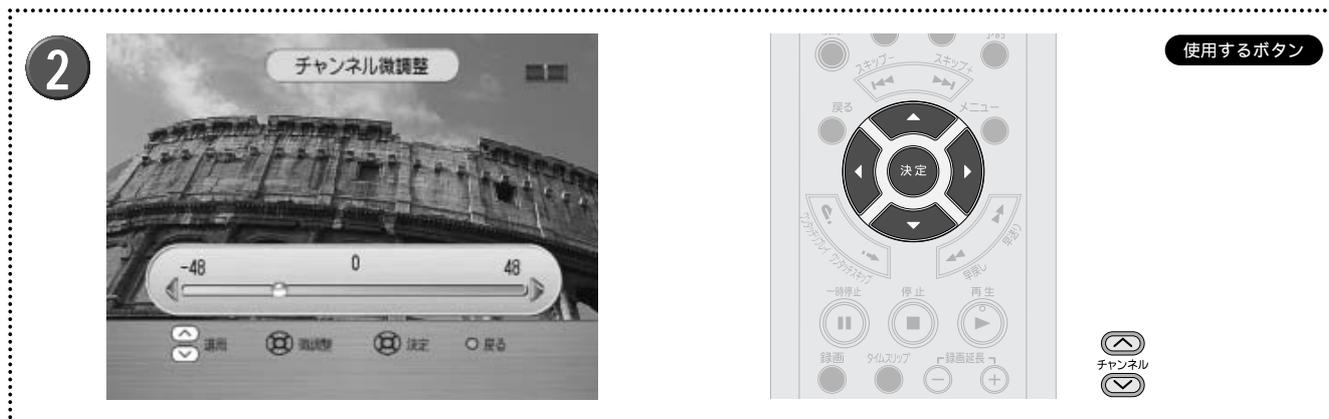
伝言機能

設定メニュー

メンテナンス
モード

チャンネル微調整

特定のチャンネルの受信状態が良好ではないときに、受信周波数の微調整を行います。



1 設定メニューで [チャンネル微調整] を選択し、[決定] ボタン を押す

▶チャンネル微調整画面が表示されます。

2 [チャンネル] ボタン を押し、調整するチャンネルを選択する

▶チャンネルは画面右上に表示されます。

3 [方向キー] で周波数を選択する

▶背景には調整中のテレビ放送の画面が表示されます。

4 [決定] ボタン を押す

▶設定を完了して設定メニューに戻ります。

お知らせ

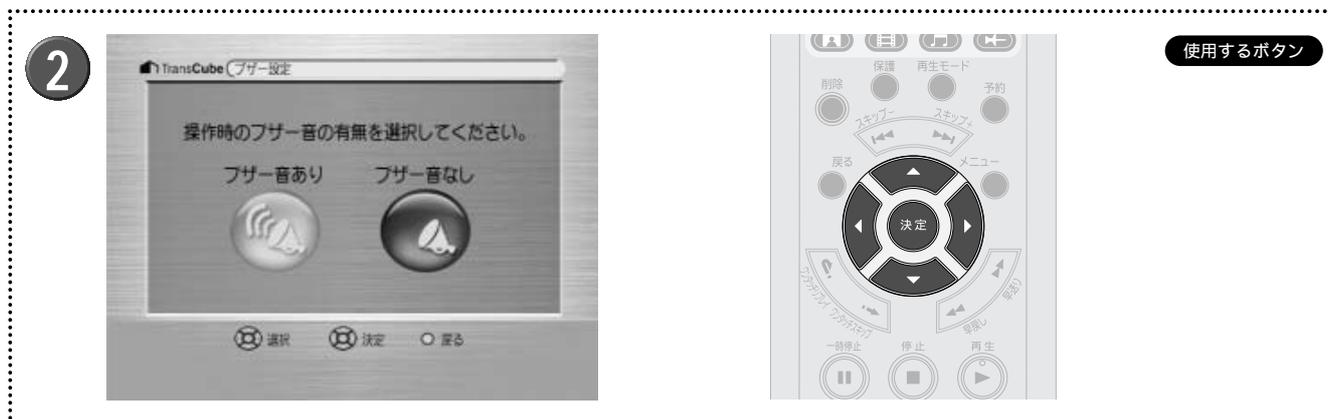
L1 (外部入力1) \ L2 (外部入力2) のチャンネル微調整は行えません。

お知らせ

テレビ視聴中、および録画中は、チャンネル微調整は行えません。

ブザー設定

リモコン操作時のブザー音のON/OFFを設定します。



1 設定メニューで [ブザー設定] を選択し、[決定] ボタン を押す

▶ブザー設定画面が表示されます。

2 [ブザー音あり] [ブザー音なし] を選択する

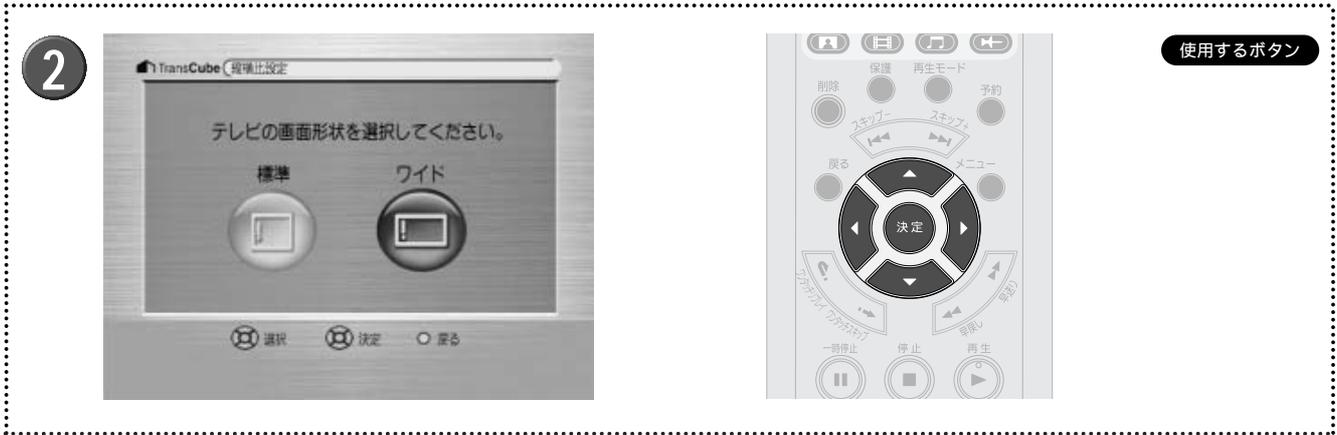
▶ [方向キー] で選択します。

3 [決定] ボタン を押す

▶設定を完了して設定メニューに戻ります。

縦横比設定

テレビ画面の縦横比を設定します。TransCubeと接続するテレビの縦横比に合わせて設定してください。



1 設定メニューで [縦横比設定] を選択し、[決定] ボタン を押す

▶ 縦横比設定画面が表示されます。

2 [標準] [ワイド] のいずれかを選択する

▶ [方向キー] で選択します。

▶ お使いのテレビの縦横比については、テレビの取扱説明書で確認してください。

3 [決定] ボタン を押す

▶ 設定を完了して設定メニューに戻ります。

PIN設定

PINのパスワードの設定

PINにパスワードを設定し、そのPINを利用できる状態にします。

設定操作は、「ビデオタイトルの管理」の「PINを設定する」(59ページ)をご参照ください。

PINのパスワードの変更

PINに設定したパスワードを変更します。

設定操作は、「ビデオタイトルの管理」の「パスワードを変更/削除する」(60ページ)をご参照ください。

PINのパスワードの削除

PINに設定したパスワードを削除します。

設定操作は、「ビデオタイトルの管理」の「パスワードを変更/削除する」(60ページ)をご参照ください。

はじめに

テレビ放送を
視聴する

ビデオの
再生と録画

録画予約

ビデオタイトルの
管理

写真の利用

音楽タイトルの
利用

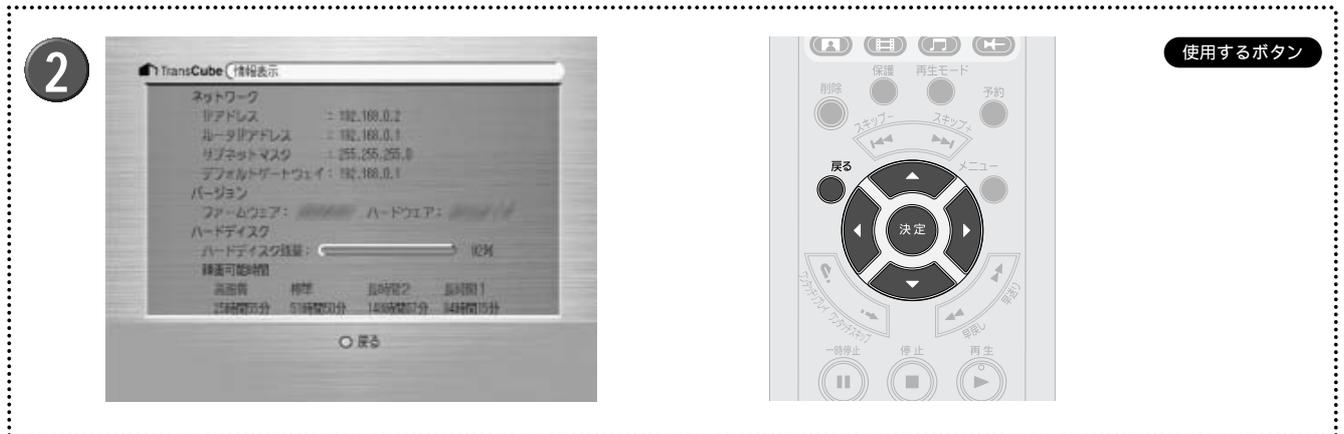
伝言機能

設定メニュー

メンテナンス
モード

情報表示

TransCube本体の現在の設定情報を表示します。



1 設定メニューで [情報表示] を選択し、[決定] ボタン を押す

▶ 設定情報が表示されます。

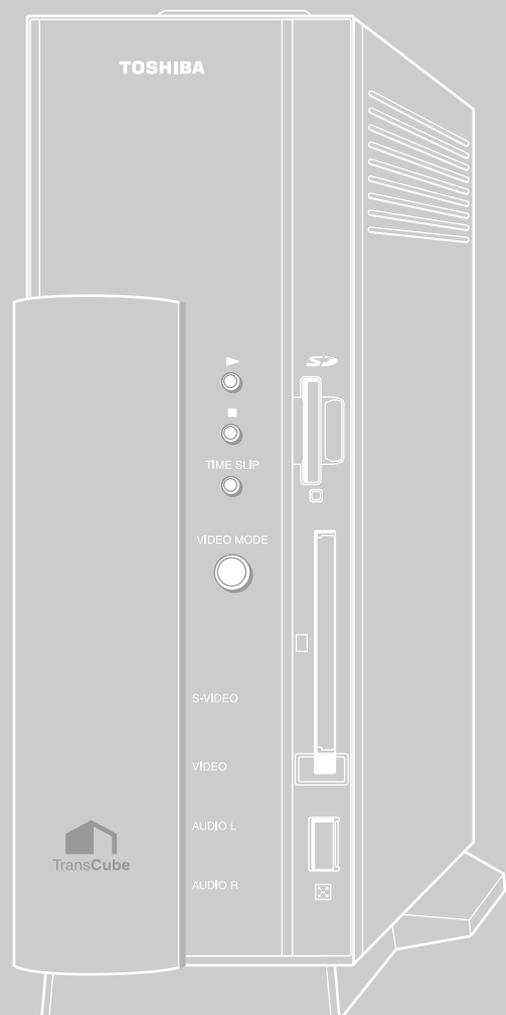
2 [戻る] ボタン を押す
▶ 設定メニューに戻ります。

表示される情報は以下のとおりです。

- ・ AV部のIPアドレス
- ・ ルータ部のIPアドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ
- ・ ファームウェアのバージョン
- ・ ハードウェアのバージョン
- ・ ハードディスク残量
- ・ 各録画画質での録画可能時間

メンテナンスモード

メンテナンスモード設定メニューの各部名称.....	100
ファームウェアアップデート.....	101
ハードディスクフォーマット.....	104
バックアップ/リストア	108
設定初期化.....	114
再起動	115



メンテナンスモード設定メニューの各部名称

メンテナンスモードの表示

メンテナンスモードの設定メニューを表示するには、次のように操作してください。

- 1 TransCubeの電源がONのときは、本体の電源スイッチをOFFにする
▶完全に電源が切れるまでお待ちください。本体表示窓の表示が消えれば電源が切れた状態です。
- 2 本体の[スキップ-]ボタン  を押しながら、本体の電源スイッチをONにする
▶メンテナンスモードの設定メニューが表示されます。

お知らせ

メンテナンスモードの設定メニューが表示されるまで、少し時間がかかります。



メンテナンスモードの設定メニューには次の項目があります。

- | | | |
|----------------|--------------------------|--|
| ・ファームウェアアップデート | 本体ファームウェアのアップデートを行います |  101ページ |
| ・ハードディスクフォーマット | ハードディスクをフォーマットします |  104ページ |
| ・バックアップ/リストア | ハードディスクのバックアップ/リストアを行います |  108ページ |
| ・設定初期化 | 本体の各種設定を初期化します |  114ページ |
| ・再起動 | 本体を再起動します |  115ページ |

ワンポイント

メンテナンスモードでは、メニューの選択や決定に本体ボタンが使用できます。本体ボタンでの操作については下記ページをご覧ください。

参照 リモコンボタンと本体ボタンの対応 6ページ

ファームウェアアップデート

ファームウェアとは、本体内蔵のソフトウェアのことです。商品購入後、ファームウェアが更新されることがあります。更新されたファームウェアをTransCubeに組み込むには、まずファームウェアをダウンロードし、続いて「ファームウェアのアップデート」を行ってください。

お知らせ

ファームウェアのアップデートを行う際は、必ずバージョンを確認し、正しいバージョンのファームウェアにアップデートするようにしてください。

ファームウェアのダウンロード

アップデート用のファームウェアが公開され、ダウンロードできるようになっている場合は、下記のウェブサイトでお知らせします。

<http://dynabook.com/>

Internet Explorer等のウェブブラウザでこのサイトに接続して、ファームウェアをパソコンにダウンロードし、適当なフォルダに保存してください。

ファームウェアのアップデート

ファームウェアのアップデートの操作では、手順4~8のファームウェアの転送時にパソコンを使用します。ファームウェアのアップデートの操作の前に、パソコンがTransCubeと接続できることを必ず確認してください。

参照 TransCubeへの接続 セットアップマニュアル 61ページ



1 メンテナンスモードの設定メニューで [ファームウェアのアップデート] を選択し、[決定] ボタン を押す

▶ 確認画面が表示されます。

▶ 現在のファームウェアのバージョンと、ハードウェアのバージョンが表示されます。必ずバージョンを確認したのち、次の手順へお進みください。

2 アップデートを実行するときは [はい] を選択して [決定] ボタン を押す

▶ [いいえ] を選択すると設定メニュー（メンテナンスモード）に戻ります。



- 3** ファームウェア待ち受け画面が表示される
- ▶ IPアドレスとサブネットマスクが表示されます。このアドレスはパソコンからのファームウェア転送時に必要になります。
 - ▶ リモコンの [決定] ボタン  を押すとキャンセルできます。
 - ▶ 次の手順4から8まではパソコンでの作業になります。

4 パソコンを起動し、[スタート] [すべてのプログラム] [LIVE MEDIA for TransCube V2] [ファームウェアのアップデート] を選択してファームウェアのアップデートプログラムを起動する

5 手順3でテレビ画面に表示されているIPアドレスを入力する

- ▶ すでに接続されている状態でファームウェアのアップデートプログラムを起動した場合は、IPアドレスは入力されています。

6 [参照] ボタンをクリックして、ダウンロードしたアップデートファイルを選択する

- ▶ テキストボックスにファイルを入力することもできます。

7 [転送] ボタンをクリックして、TransCubeへの転送を開始する

8 確認メッセージが表示されるので [OK] ボタンをクリックする

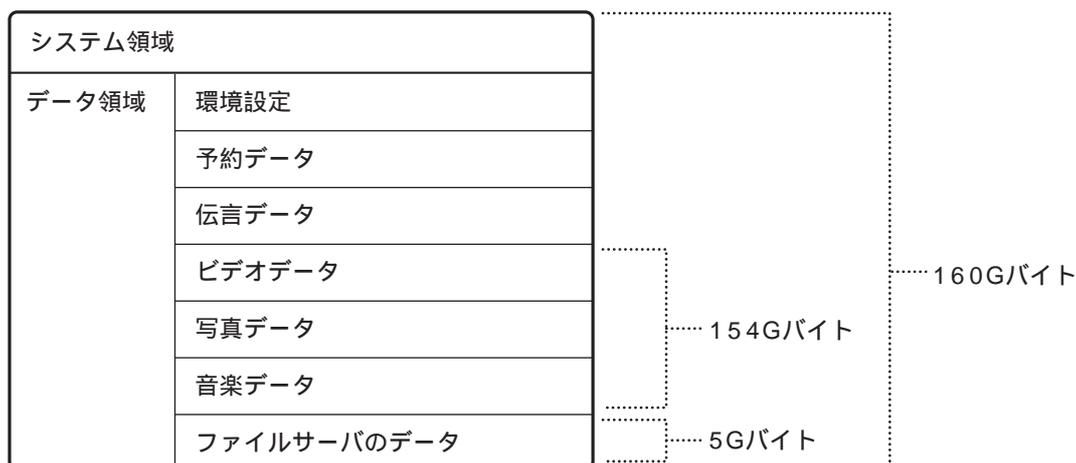
- ▶ キャンセルしたい場合は [キャンセル] をクリックしてください。
- ▶ ファームウェアの転送が終われば、パソコンでの作業は終了です。

ハードディスクフォーマット

TransCubeに内蔵されているハードディスクをフォーマット（初期化）します。フォーマットには、「全フォーマット」と「ライブラリのフォーマット」の2種類があります。

TransCubeの内蔵ハードディスクの構成について

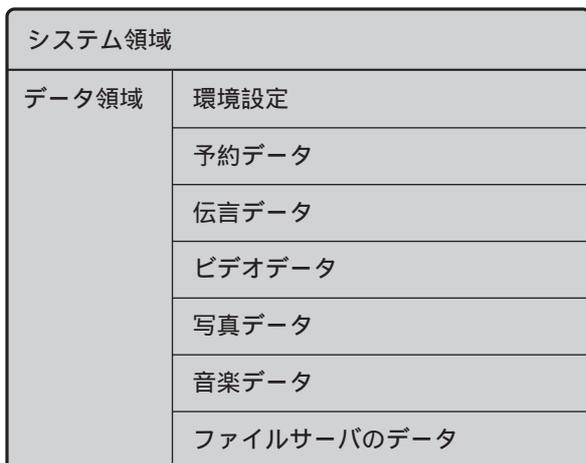
TransCubeに内蔵されているハードディスクは以下のような構成になっています。



「全フォーマット」と「ライブラリのフォーマット」でデータが削除される領域は次のとおりです。

全フォーマットで削除される領域

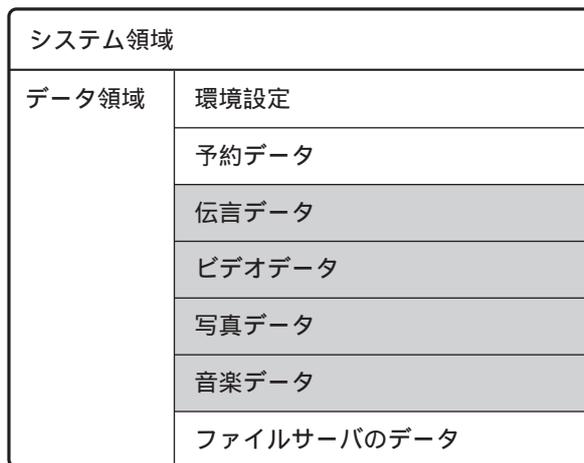
全フォーマットでは、システム領域とすべてのデータ領域が対象となり、ハードディスク内のすべてのデータが削除されます。



...全フォーマットの削除領域

ライブラリのフォーマットで削除される領域

ライブラリのフォーマットは、データ領域のうち「伝言」「ビデオ」「写真」「音楽」のデータが対象となり、「伝言」「ビデオ」「写真」「音楽」のデータが削除されます。



...ライブラリのフォーマットの削除領域

お知らせ

フォーマットを行うとハードディスクのデータが失われます。操作する前に、削除してはいけないデータがないか、必ず確認してください。各フォーマットで失われるデータと確認方法は以下のとおりです。

「ライブラリのフォーマット」で失われるデータと確認方法

- ・ライブラリのデータ：ビデオ / 写真 / 音楽の各ライブラリー一覧画面と伝言画面から確認

「全フォーマット」で失われるデータと確認方法

- ・ライブラリのデータ：ビデオ / 写真 / 音楽の各ライブラリー一覧画面と伝言画面から確認
- ・録画予約情報：録画予約一覧画面から確認
- ・ファイルサーバのデータ：パソコンから確認

参照 ファイルサーバー機能の利用 LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル 139ページ

全フォーマット

ハードディスクの全フォーマットを行うときは、次のように操作します。

お知らせ

全フォーマット時にはファームウェアのアップデートを実行してからフォーマットします。ファームウェアアップデート用ファイルを準備してから、全フォーマットを行ってください。

2



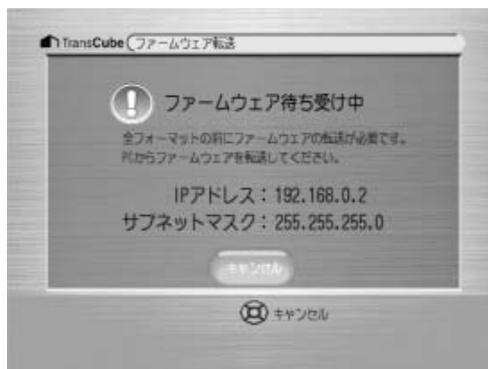
使用するボタン



3



4



1 メンテナンスモードの設定メニューで [ハードディスクのフォーマット] を選択し、[決定] ボタン  を押す

- ▶ フォーマット方法の選択画面が表示されます。

2 [全フォーマット] を選択して [決定] ボタン  を押す

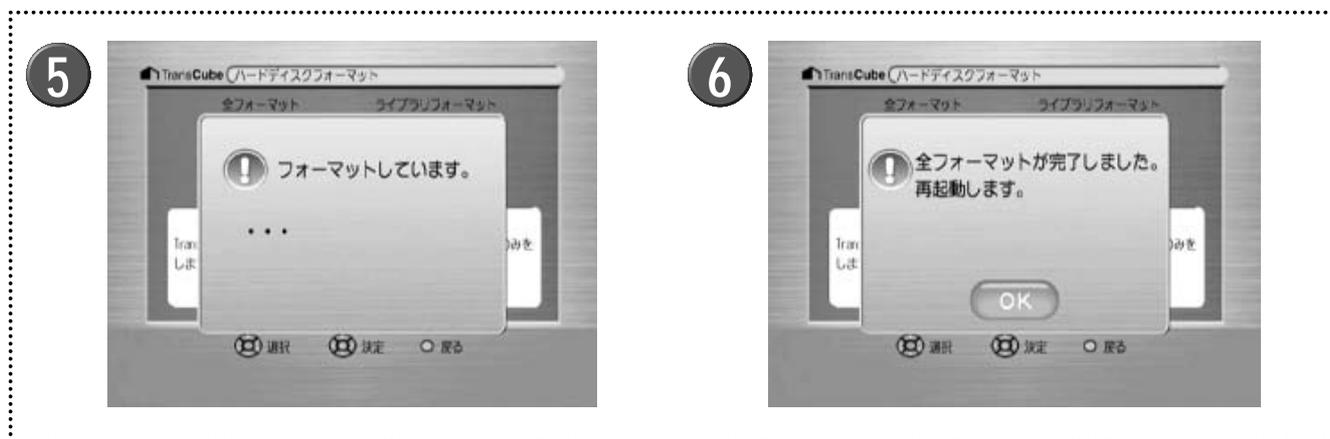
- ▶ [方向キー]  で選択します。

3 確認画面が表示されるので、フォーマットしてよければ [はい] を選択して [決定] ボタン  を押す

- ▶ [いいえ] を選択するか [戻る] ボタン  を押すと、フォーマットを中止し、フォーマット選択画面に戻ります。

4 ファームウェア待ち受け画面が表示されるので、ファームウェアのアップデートを行う

- ▶ 102ページのファームウェアのアップデートの手順4～10と同様の作業を行ってください。



5 ファームウェアのアップデートが終わると、フォーマット実行中のメッセージが表示される

6 フォーマット完了のメッセージが表示されるので、[決定] ボタン  を押す

▶ [決定] ボタンを押すと再起動します。

お知らせ

全フォーマット中に電源が切れた場合など、再度電源をONにするとメンテナンスモードで起動する場合があります。その場合は、再度ハードディスクの全フォーマットを行うか、110ページのバックアップを行っている場合はリストアを行ってください。

ライブラリのフォーマット

ハードディスクのライブラリのフォーマットを行うときは、次のように操作します。

2



使用するボタン

3



4



5



1 メンテナンスモードの設定メニューで [ハードディスクのフォーマット] を選択し、[決定] ボタン  を押す

▶ フォーマット方法の選択画面が表示されます。

2 [ライブラリのフォーマット] を選択して [決定] ボタン  を押す

3 確認画面が表示されるので、フォーマットしてよければ [はい] を選択して [決定] ボタン  を押す

▶ [いいえ] を選択するとフォーマットを中止し、フォーマット選択画面に戻ります。

4 再度確認画面が表示されるので、フォーマットしてよければ [はい] を選択して [決定] ボタン  を押す

▶ [いいえ] を選択するとフォーマットを中止し、フォーマット選択画面に戻ります。

5 フォーマット完了のメッセージが表示されるので、[決定] ボタン  を押す

▶ フォーマットが完了すると、メンテナンスモードの設定メニューに戻ります。

はじめに

テレビ放送を
視聴する

ビデオの
再生と録画

録画予約

ビデオタイトル
の管理

写真の利用

音楽タイトルの
利用

伝言機能

設定メニュー

メンテナンス
モード

バックアップ/リストア

TransCubeの内蔵ハードディスクの内容を、本体の拡張ポートに接続した外付けハードディスクドライブにバックアップしたり、バックアップした内容をリストア（復元）したりできます。

接続確認済みのハードディスクについて

本機で接続が確認できている外付けハードディスクについては、下記のウェブページでお知らせいたします。

http://dynabook.com/pc/wme/index_j.htm

バックアップ/リストアの対象となるハードディスク領域

バックアップ/リストアの対象となる内蔵ハードディスク領域は、システム領域とすべてのデータ領域です。リストアを実行した場合は、TransCubeの内蔵ハードディスクに保存されているすべての内容が、外付けハードディスクにバックアップしたデータに書き換えられます。

お知らせ

バックアップでは、システム領域を含め、すべてのデータをバックアップします。TransCube本体のファームウェアのアップデートを行う前にバックアップを行っていた場合は、そのバックアップデータでリストアを行うと、ファームウェアがアップデート前の状態に戻ります。このようなときは、リストア後に再度、ファームウェアのアップデートを行ってください。

参照 ファームウェアアップデート 101ページ

システム領域	
データ領域	環境設定
	予約データ
	伝言データ
	ビデオデータ
	写真データ
	音楽データ
	ファイルサーバのデータ

...バックアップ/リストアの対象領域

使用できるハードディスク

TransCubeの拡張ポートに接続できる外付けハードディスクは、以下の条件を満たすものに限られます。

- ・接続インターフェイス：USB2.0規格
- ・容量：推奨160Gバイト以上

お知らせ

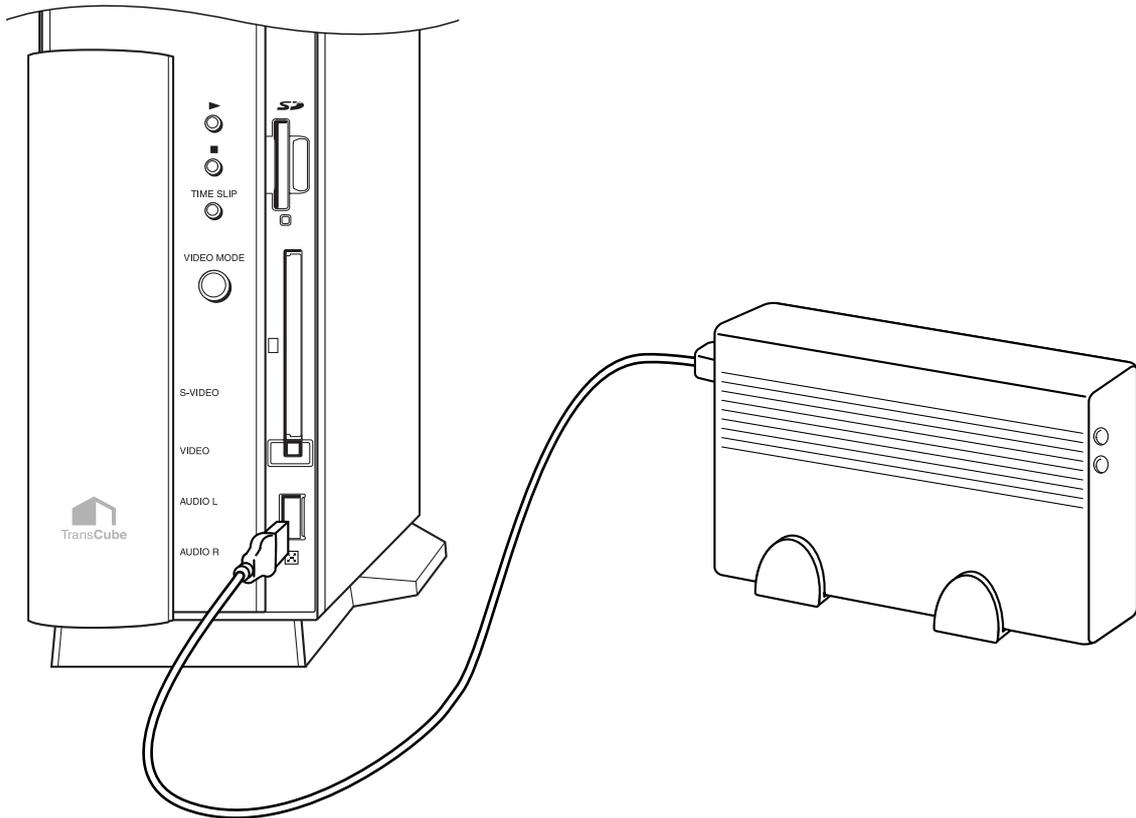
- ・容量が160Gバイトより小さいハードディスクでは、データ量がハードディスクの容量を超えるとバックアップできません。
- ・バックアップを行うときは、外付けハードディスクはフォーマットされます。外付けハードディスクに保存されているデータはすべて消えますので、ご注意ください。
- ・バックアップ、リストアを行うときは、TransCubeには外付けハードディスクを1台のみ、直接接続してください。USBハブなどを介して外付けハードディスクを接続しないでください。
- ・TransCubeに接続したハードディスクは、増設用としては利用できません。
- ・DVD-RAMなどの光ディスクにはバックアップできません。
- ・一部の外付けハードディスクは使用できない場合があります。

お知らせ

バックアップ、リストアは、TransCubeの内蔵ハードディスク使用容量によっては時間がかかります。

ハードディスクをTransCubeに接続する

市販のUSB接続ハードディスクドライブを図のようにTransCubeの拡張ポートに接続し、ハードディスクドライブの電源をONにしてください。



お知らせ

USB接続ハードディスクドライブについては、USB接続ハードディスクドライブの取扱説明書をご覧ください。

はじめに

テレビ放送を
視聴する

ビデオの
再生と録画

録画予約

ビデオタイトル
の管理

写真の利用

音楽タイトルの
利用

伝言機能

設定メニュー

メンテナンス
モード

バックアップ

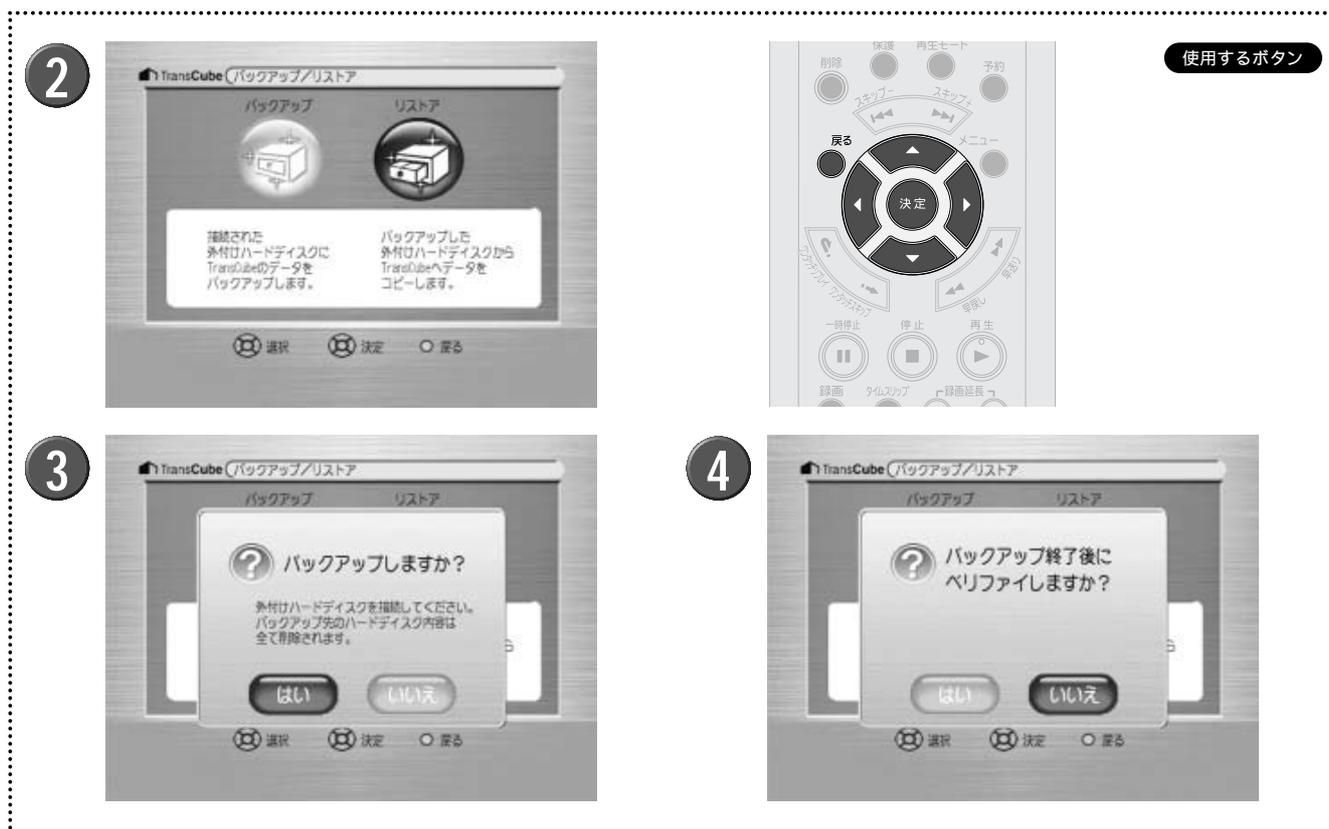
TransCubeのハードディスクの内容をバックアップします。

お知らせ

バックアップを行うと、TransCubeに接続した外付けハードディスクドライブのデータは失われます。操作する前に、削除してはいけないデータがないか、必ず確認してください。

ワンポイント

バックアップ、およびベリファイを行っても、TransCube内蔵のハードディスクの内容は失われません。



1 メンテナンスモードの設定メニューで [バックアップ/リストア] を選択し、[決定] ボタン を押す

▶バックアップかリストアかの選択画面が表示されます。

2 「バックアップ」を選択して [決定] ボタン を押す

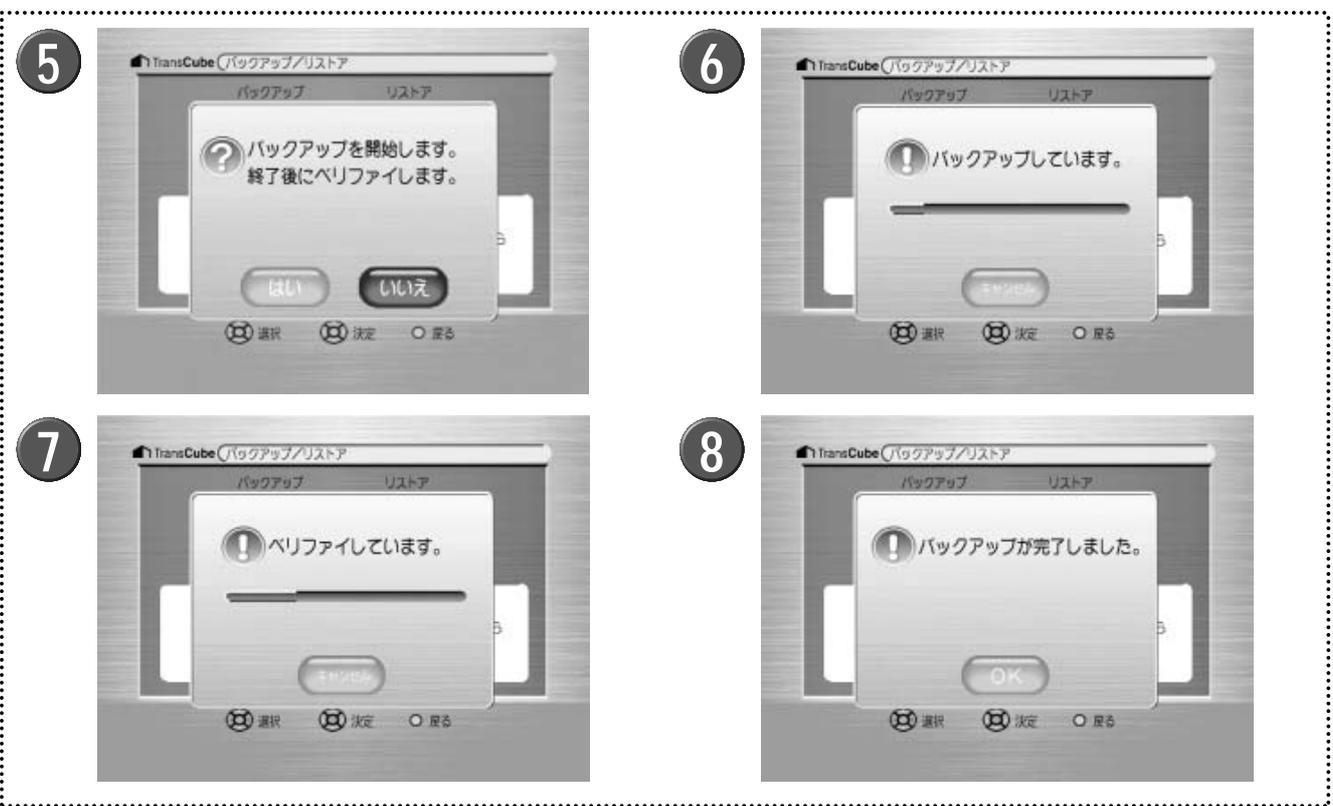
3 確認画面が表示されるので、実行してよければ [はい] を選択して [決定] ボタン を押す

▶ [いいえ] を選択するとバックアップを中止します。

4 ベリファイ実行画面が表示されるので、ベリファイを実行する場合は、[はい] を選択して [決定] ボタン を押す

▶ベリファイを実行すると、バックアップ後に外付けハードディスクに保存されたデータをチェックし、正確にバックアップされているかどうか検証します。時間はかかりますが、バックアップの失敗を確認することができます。

▶ベリファイを実行しない場合は、[いいえ] を選択して [決定] ボタンを押してください。



5 バックアップ開始の再確認メッセージが表示されるので、実行してよければ [はい] を選択して [決定] ボタン を押す

- ▶ [いいえ] を選択して [決定] ボタンを押すとバックアップを中止します。
- ▶ 手順4でベリファイの実行を選択しなかった場合は、「バックアップを開始します。終了後にベリファイしません。」と表示されます。

6 バックアップ実行中のメッセージが表示される

- ▶ 進行状況を示すプログレスバーが表示されます。
- ▶ [決定] ボタンか [戻る] ボタン を押すと中止します。

7 手順4でベリファイの実行を選択した場合、ベリファイ実行中のメッセージが表示される

- ▶ 手順4でベリファイの実行を選択しなかった場合は、この画面は表示されません。
- ▶ 進行状況を示すプログレスバーが表示されます。
- ▶ [決定] ボタンか [戻る] ボタン を押すと中止します。

8 バックアップの完了メッセージが表示されるので、[決定] ボタン を押す

- ▶ メンテナンスモードに戻ります。
- ▶ 作業を終了したら、TransCubeに接続したハードディスクドライブを取り外しておいてください。

リストア

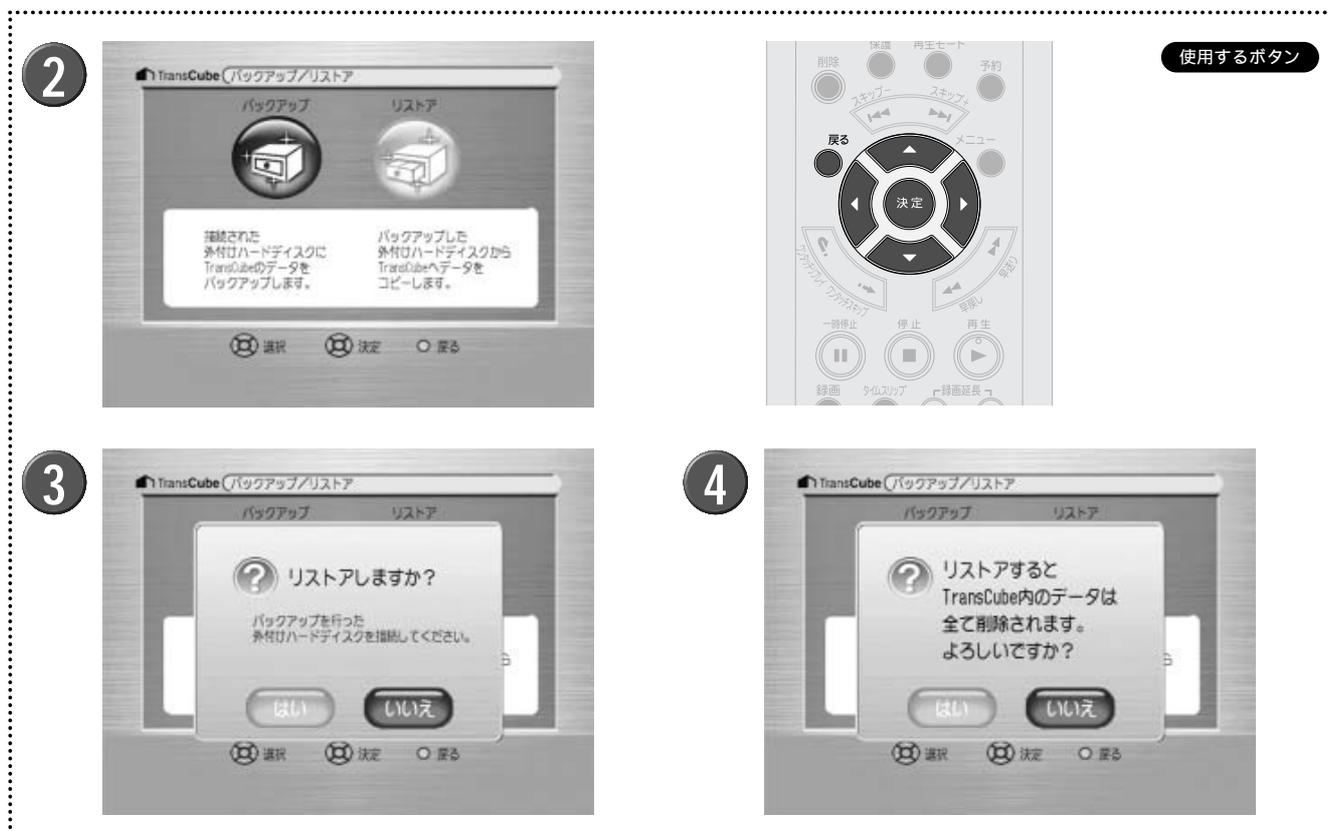
バックアップした外付けハードディスクドライブから、TransCubeの内蔵ハードディスクにデータを復元します。これをリストアと呼びます。

お知らせ

リストアを行うと、リストア前にあったTransCubeの内蔵ハードディスクのデータがすべて失われます。操作する前に、削除してはいけないデータがないか、必ず確認してください。リストアで失われるデータの確認方法は以下のとおりです。

- ・ライブラリのデータ : ビデオ/写真/音楽の各ライブラリー一覧画面と伝言画面から確認
- ・録画予約情報 : 録画予約一覧画面から確認
- ・ファイルサーバのデータ : パソコンから確認

参照 ファイルサーバー機能の利用 LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル 139ページ

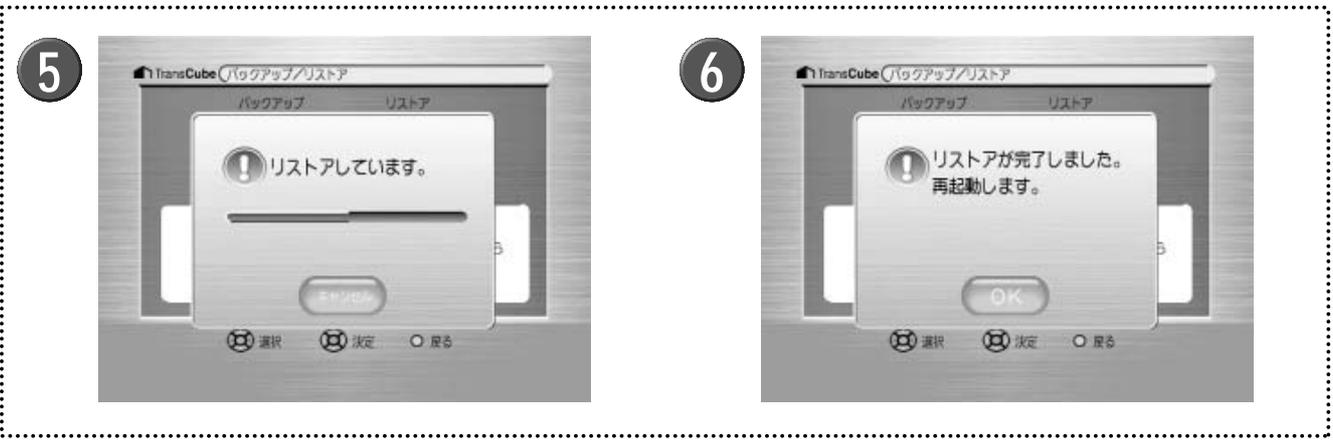


1 メンテナンスモードの設定メニューで [バックアップ/リストア] を選択し、[決定] ボタン  を押す
▶バックアップかリストアかの選択画面が表示されます。

2 「リストア」を選択して [決定] ボタン  を押す

3 確認画面が表示されるので、実行してよければ [はい] を選択して [決定] ボタン  を押す
▶[いいえ] を選択するとリストアを中止します。

4 再度確認を求める画面が表示されるので、リストアしてよければ [はい] を選択して [決定] ボタン  を押す
▶[いいえ] を選択するとリストアを中止します。



5 リストア実行中のメッセージが表示される
▶ [決定] ボタン (OK) かリモコンの [戻る] ボタン (Back) を押すと中止します。

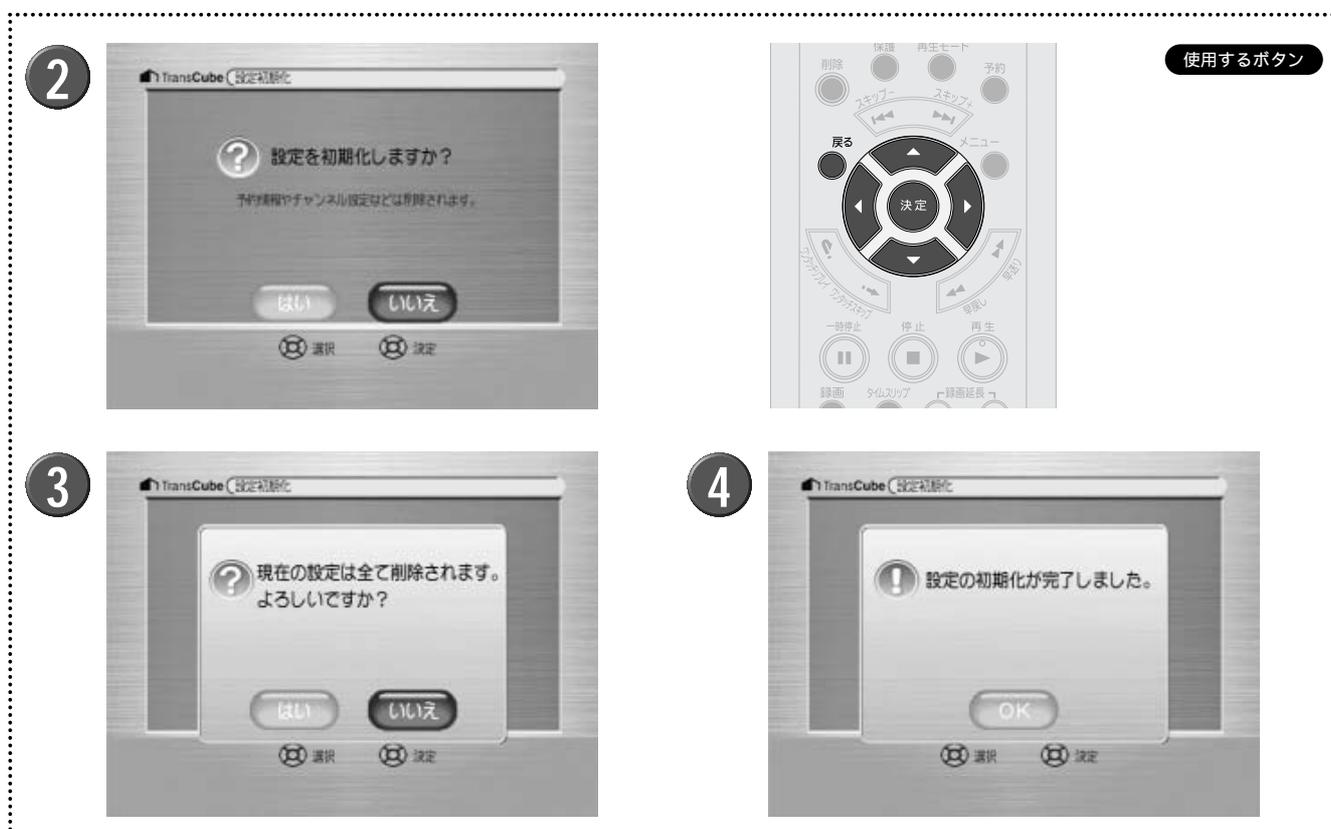
6 リストアの完了メッセージが表示される
▶ [決定] ボタン (OK) を押すと再起動します。
▶ 再起動が完了したら、TransCubeに接続したハードディスクドライブを取り外してください。

お知らせ
リストアを途中でキャンセルした場合も、TransCubeのハードディスクの内容は失われます。再度リストアを行うか、ハードディスクの全フォーマットを行ってください。
参照 全フォーマット 105ページ

設定初期化

TransCubeの設定を初期化します。初期化される設定は次のとおりです。

- ・予約情報（登録されている録画予約がすべて失われます）
- ・チャンネル地域設定（チャンネル地域設定の情報がすべて失われます。設定の手順は95ページをご覧ください）
- ・ブザー音（ブザー音の設定情報が失われます。設定の手順は96ページをご覧ください）
- ・ディマー値（ディマー値の設定情報が失われます）
- ・iCom Commander設定（iモードなどからのリモート録画予約が行えなくなります。設定項目は、LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアルの104ページをご覧ください）
- ・画質設定（録画時の画質の設定情報が失われます。設定の手順は33ページをご覧ください）
- ・縦横比（画面の縦横比の設定情報が失われます。設定の手順は97ページをご覧ください）
- ・カレントタイトル（レジューム再生時に使用する最後に再生したタイトルの情報が失われます）
- ・ファイルサーバーの設定（ファイルサーバー機能が無効になります。設定の手順は、LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアルの140ページをご覧ください）



1 メンテナンスモードの設定メニューで [設定初期化] を選択し、[決定] ボタン  を押す

2 確認画面が表示されるので、初期化してよければ [はい] を選択して [決定] ボタン  を押す

▶ [いいえ] を選択すると初期化を中止し、メンテナンスモードの設定メニューに戻ります。

3 再度確認を求める画面が表示されるので、初期化してよければ [はい] を選択して [決定] ボタン  を押す

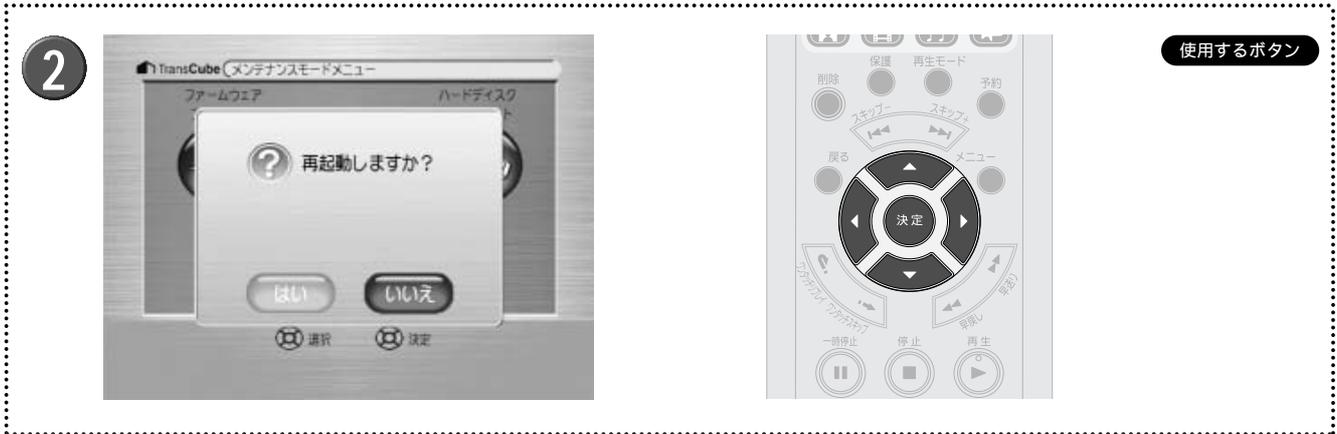
▶ [いいえ] を選択すると初期化を中止し、メンテナンスモードの設定メニューに戻ります。

4 初期化が行われ、完了メッセージが表示される

▶ [決定] ボタン  を押すとメンテナンスモードに戻ります。

再起動

メンテナンスモードを終了し、システムを再起動します。



- 1 メンテナンスモードの設定メニューで [再起動] を選択し、[決定] ボタン  を押す
- 2 確認画面が表示されるので、再起動してよければ [はい] を選択して [決定] ボタン  を押す
▶ [いいえ] を選択すると再起動を中止し、メンテナンスモードの設定メニューに戻ります。

はじめに

テレビ放送を視聴する

ビデオの再生と録画

録画予約

ビデオタイトル
の管理

写真の利用

音楽タイトルの
利用

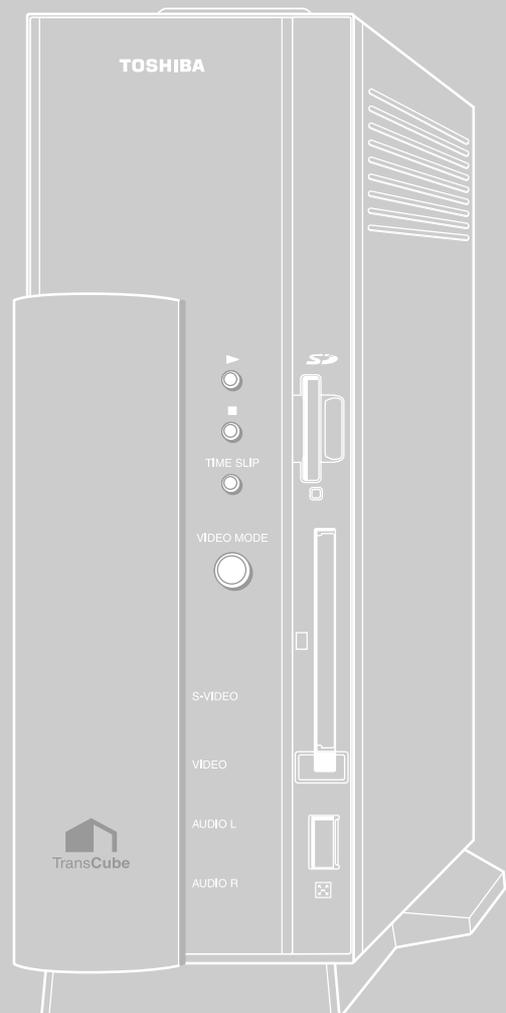
伝言機能

設定メニュー

メンテナンス
モード

仕様

本体	118
無線LANカード	119
無線LANについて	120



本体

項目		仕様	
ネットワーク			
無線LAN	タイプ	外付けアクセスポイント	PCカードPCMCIA TYPE
	通信方式	IEEE802.11a	IEEE802.11b
	帯域	5GHz	2.4GHz
	転送速度	54Mbps (最大)	11Mbps (最大)
回線側 (WAN) ポート	規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX)	
	通信速度	10Mbps (10BASE-T) 100Mbps (100BASE-TX)	
LANポート	規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX)	
	通信速度	10Mbps (10BASE-T) 100Mbps (100BASE-TX)	
ハードディスク			
ハードディスク容量		3.5インチ160GB	
映像	録画可能タイトル数	200タイトル (1タイトル最大12時間)	
	録画時間 (長時間1)	(VBR 1.4Mbps) 約230時間	
	録画時間 (長時間2)	(VBR 2.2Mbps) 約145時間	
	録画時間 (標準)	(VBR 4Mbps) 約80時間	
	録画時間 (高画質)	(VBR 8Mbps) 約40時間	
録画方式	MPEG2 (可変ビットレート (VBR))		
静止画	保存可能タイトル数	最大10,000タイトル	
オーディオ	保存可能タイトル数	最大2,000タイトル	
ファイルサーバ	保存可能ハードディスク容量	5GB	
テレビチューナー			
地上波チューナー		VHF : 1 ~ 12ch、UHF : 13 ~ 62ch	
CATVチューナー		C13 ~ C38ch	
操作			
コントローラー		赤外線リモコン、パネルボタン、PCアプリケーション	
ビデオ録画		通常録画、タイムスリップ録画、録画中の別タイトル再生など	
ビデオ再生		通常再生、早送り、早戻し、一時停止、スロー再生、レジューム再生、リピート再生など	
音楽再生		通常再生、早送り、早戻し、一時停止、リピート再生など	
写真機能		スライドショー、フルスクリーン表示など	
伝言機能		伝言の登録、伝言の表示など	
ライブラリ管理		タイトル登録、タイトルロック、ライブラリ選択、PIN設定など	
(ライブラリ管理 : PC)		タイトル登録、タイトルロック、ライブラリ選択、PIN設定、iEPG予約、キーワード検索など	
インターフェイス			
システム部	メインスイッチ	1	
	スタンバイスイッチ	1	
	赤外線リモコン	受光部 (前面)	
	操作ボタン	REW、FF、PLAY、STOP、タイムスリップ、録画、CH+、CH-、スキップ+、スキップ-	
	PCカードスロット	1 (前面)	
	SDメモ리카ードスロット	1 (前面)	
	拡張ポート	2 (前面、背面)	
	WANポート	1 (背面)	
	LANポート	2 (背面)	
付属アクセスポイント専用ポート	1 (背面)		
AV部	アンテナ	入力、出力 : 同軸 75 F型	
	映像入力	S端子 (Mini-Din) × 2 (前面、背面)	
		コンポジット (ピンジャック) × 2 (前面、背面)	
	映像出力	S端子 (Mini-Din) × 1 (背面)	
		コンポジット (ピンジャック) × 1 (背面)	
音声入力	ステレオ (ピンジャック、左右) × 2 (前面、背面)		
音声出力	ステレオ (ピンジャック、左右) × 2 (背面)		
製品			
外形寸法 幅 × 奥行き × 高さ (mm) 突起物含まず		119 × 357 × 258	
重量		約3.8kg	
消費電力		通常時 (AVモード) : 37.0W スタンバイ (ルータモード) : 19.8W	
ACアダプタ		AC100V 50/60Hz 60W	
環境条件		温度 5 ~ 35 湿度 20% ~ 80% (ただし、結露無きこと)	

無線LANカード

項目		仕様	
インタフェース		CardBus PCカード	
無線LAN	通信規格	IEEE802.11a準拠	IEEE802.11b準拠
	使用周波数帯域	5.15 - 5.25GHz	2.4 - 2.497GHz
	チャンネル	34/38/42/46ch	1 ~ 14ch 1
	転送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps	11.0/5.5/2.0/1.0Mbps
	セキュリティ機能	WEP (128/64bit)	
電源電圧		3.3V	
消費電流		650mA (送信時最大)	
環境条件	温度	5 ~ 35	
	湿度	20% ~ 80%(ただし、結露無きこと)	

1 14chを使用する場合、送信のみ1Mbpsが2Mbpsに制限されます。

無線LANについて

1. 無線特性

無線LANの無線特性は、製品を購入した国、購入した製品の種類により異なる場合があります。

多くの場合、無線通信は使用する国の無線規制の対象になります。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない5GHz帯および2.4GHz帯で動作するように設計されていますが、国の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。

無線周波数帯	IEEE802.11a	5GHz (5150-5250MHz)
	IEEE802.11b	2.4GHz (2400-2497MHz)
変調方式	直交周波数分割多重方式 (IEEE802.11a) 直接拡散方式 (IEEE802.11b)	
	IEEE802.11a	OFDM-BPSK、OFDM-QPSK OFDM-16QAM、OFDM-64QAM
	IEEE802.11b	CCK、DQPSK、DBPSK

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広がります。

ワンポイント

- ・アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- ・無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る“障害物”がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

2. サポートする 周波数帯域

無線LANがサポートする5GHz帯および2.4GHz帯のチャンネルは、国内で適用される無線規制によって異なる場合があります。(表「無線IEEE802.11チャンネルセット」参照)。

[無線IEEE802.11チャンネルセット]

IEEE802.11a (5GHzの場合)

周波数帯域	5150-5250MHz
チャンネルID	
34	5170
38	5190
42	5210
46	5230

IEEE802.11b (2.4GHz)

TransCube本体の場合、1～11チャンネルまでの設定が可能です。

同梱の802.11a/b無線LANカードの場合、1～14チャンネルまでの使用が可能です。

周波数帯域	2400-2497MHz
チャンネルID	
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457 *1
11	2462
12	2467
13	2472
14	2484 *2

*1：購入時に設定されているチャンネルです。

*2：14チャンネルを使用する場合、送信のみ1Mbps、または2Mbpsに制限されます。

無線LANのチャンネル設定は、次のように管理されます。

インフラストラクチャで無線LAN接続する場合、ステーションが自動的に無線LANアクセスポイントのチャンネルに切り替えます。異なるアクセスポイント間をローミングする場合は、ステーションが必要に応じて自動的にチャンネルを切り替えます。

“ピア・ツー・ピア”モードで無線LAN接続する場合は、チャンネル10が使用されません。

本製品を日本でお使いの場合のご注意

- ・日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。
- ・電波法により、5GHz帯無線LANの屋外での使用は禁止されています。

1.ステッカー

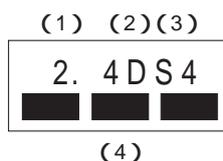
本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に同梱されている以下のステッカーを本体に貼付ください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCダイヤルへお問い合わせください。

2.現品表示

本製品の梱包箱および同梱の無線LANカードには、以下に示す現品表示が記載されています。



- (1) 2.4 : 2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
- (2) DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示す。
- (3) 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
- (4) ■■■■ : 2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

TransCube本体にはこの表示は記載されていませんが、内部の部品には記載されています(ただし分解して確認することは、故障の原因となりますので絶対にしないでください)。

3.東芝PCダイヤル

受付時間 / 9:00～19:00(年中無休)

ナビダイヤル 0570-00-3100

機器認証表示について

本製品には、電波法及び電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、以下の認証を受けた無線設備を内蔵しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

無線設備名：PC24E-11-FC/R

財団法人 電気通信端末機器審査協会 認証番号 D01-1128JP
財団法人 テレコムエンジニアリングセンター 認証番号 01NYDA1376

無線設備名：BCP3483A

株式会社 ディーエスピーリサーチ 認証番号 03NYDA0039
03GZDA0034
03WYBA0015

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局としての工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備を他の機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触する恐れがありますので、十分にご注意ください。

以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・本製品を分解 / 改造すること
- ・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

商標について

Microsoft、Windows、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国及び他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft™ Windows® Operating Systemです。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、およびAcrobat Readerは Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。

InterVideoはInterVideo Incorporatedの登録商標です。

WinDVDはInterVideo Incorporatedの商標です。

リモート録画予約サービス「iCommand」はソニー株式会社の商標です。

「iRCommander」はソニー株式会社の登録商標です。

「テレビ王国」はソニー株式会社の登録商標です。

So-netはソニー株式会社の商標です。

iモード、アイモードは株式会社NTTドコモの登録商標です。

フレッツ・ADSL、Bフレッツは、NTT東日本の登録商標または商標です。

メモリースティックはソニー株式会社の商標です。

コンパクトフラッシュは米国サンディスク社の商標です。

スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標です。

xDピクチャーカードは富士写真フイルム株式会社の商標です。

その他、本取扱説明書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

著作権について

本体にプリインストールされている音楽や写真は許可なく2次使用することはできません。

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、“著作権侵害”“著作者人格権侵害”として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。製品を使用して複製などをなされる場合は、著作権法を遵守の上、適切なお使用を心がけて頂けますよう、お願い致します。

ハードウェアの保証とアフターサービスについて

本製品の修理サービスは

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合は

「東芝家電修理ご相談センター」



フリーダイヤル トーシバ ヨイ
0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用はできません。

受付時間 24時間365日

本製品についての技術的なご質問、お問い合わせは

「東芝PCダイヤル」

☎ 0570-00-3100

(ナビダイヤル：全国共通電話番号)

受付時間 9:00～19:00

[年中無休]

海外からのTEL、携帯電話等で、上記電話番号に接続できないお客様・NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、☎ 043-298-8780で受け付けております。

WinDVD Creatorについては

WinDVD Creatorに関するお問い合わせは

「インタービデオジャパン
ユーザーサポート」

☎ 03-5447-0576

受付時間 月～金 9:30～17:00

(12:00～13:30および祝祭日を除く)

[夏期・年末特定休業日、休業日、祝祭日を除く]

Fax 03-5447-6689

URL : <http://www.intervideo.co.jp/>

E-MAIL : support@intervideo.co.jp

お問い合わせの前にホームページ

(<http://www.intervideo.co.jp>)

のサポートページをご確認ください。

修理形態

無料修理（保証修理）

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障した時に、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします。（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください。）

有料修理

「保証書」に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）については、有料修理をいたします。

部品について

部品の交換

保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。尚、有料修理でユニット修理を適用した場合及び無料修理の交換元（取り外した）部品の所有権は、株式会社東芝または株式会社東芝の認める各保守会社に帰属します。

保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。

本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から6年6カ月です。

TransCube 本体操作マニュアル

平成15年7月 A1版発行 MPW1234A

©2003 Toshiba Corporation

無断複製および転載を禁ず

株式会社 **東芝**

デジタルメディアネットワーク社 PC事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦1丁目1番1号



東芝PC総合情報サイト
<http://dynabook.com/>

株式会社 **東芝**

デジタルメディアネットワーク社 PC事業部
〒105-8001 東京都港区芝浦1丁目1番1号